

令和2年度事業仕分け

# 「鳥の博物館の運営」について



実施日時：令和2年12月5日  
15:00～15:50

# 鳥の博物館とは

## ▶ 開館の経緯

- ・手賀沼の水質汚濁
- ・山階鳥類研究所の誘致



平成2年 鳥の博物館の設置

## ▶ 運営方針

- ・関係機関の協力を得る
- ・多くの人に永く愛され、質の高いまちづくりに寄与する
- ・参加しやすい事業展開を図る
- ・体験学習コーナーを設ける
- ・博物館周辺をフィールドミュージアムとして活用する

⇒楽しさ、利用しやすさ、質の高い情報提供を追及

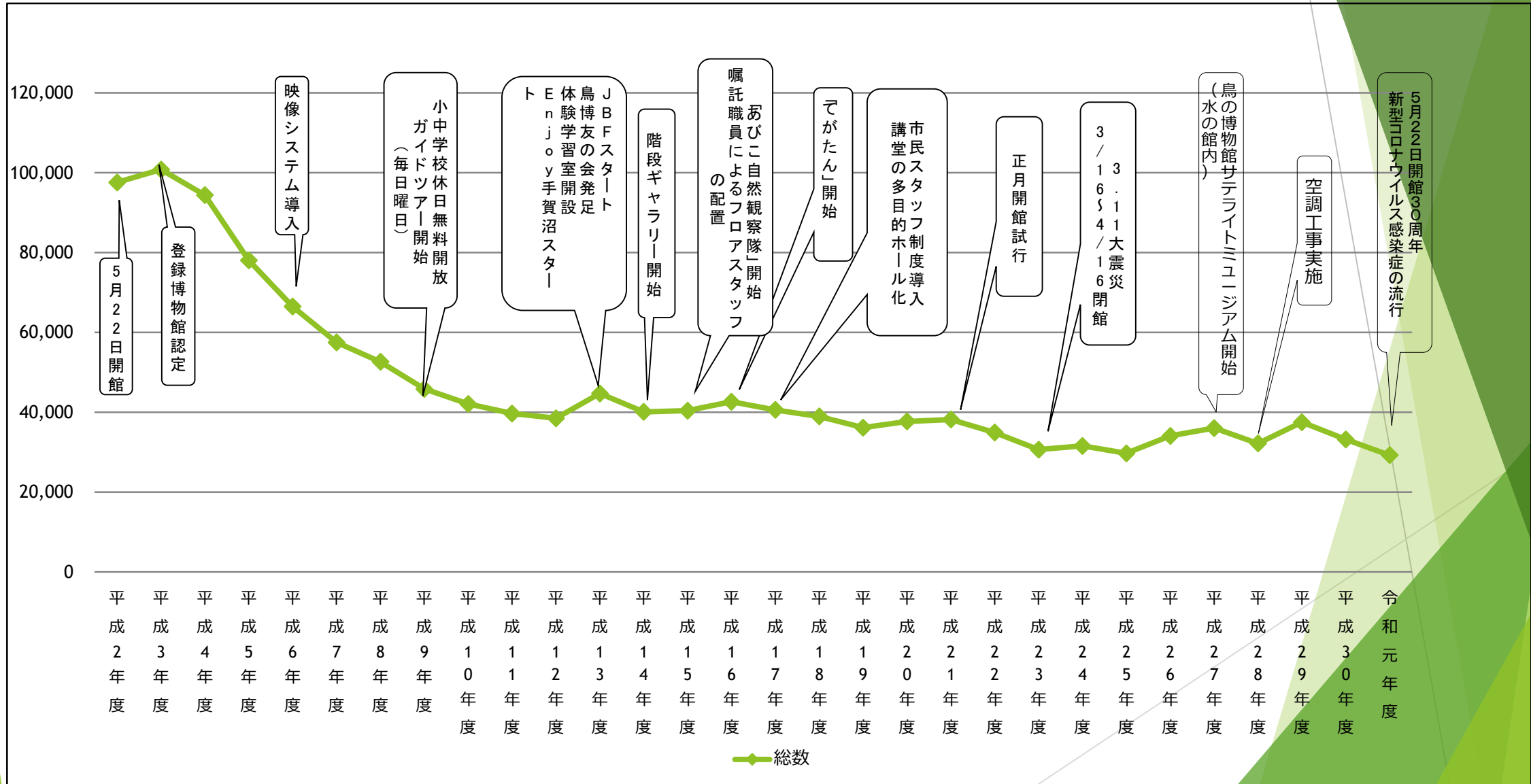
# 鳥の博物館の取り組み

- ▶ 山階鳥類研究所との連携
- ▶ 市民スタッフ・友の会との連携及び活動支援
- ▶ 生息調査の継続とデータ蓄積、研究
- ▶ 資料の収集と標本の作製・展示
- ▶ 教育普及活動



市民スタッフによる展示案内

# 鳥の博物館のあゆみと入館者数



# 課題

- ▶ 1. 常設展示の魅力低下
- ▶ 2. 施設の老朽化
- ▶ 3. 運営体制（人員の確保）
- ▶ 4. 来館者と入館料

# 課題1 常設展示の魅力低下

## ▶ 30年間同様の常設展示

⇒ 魅力の低下

⇒ 入館者数の減少



# 課題 1

## 現在の常設展示

### 1. 手賀沼の自然と鳥

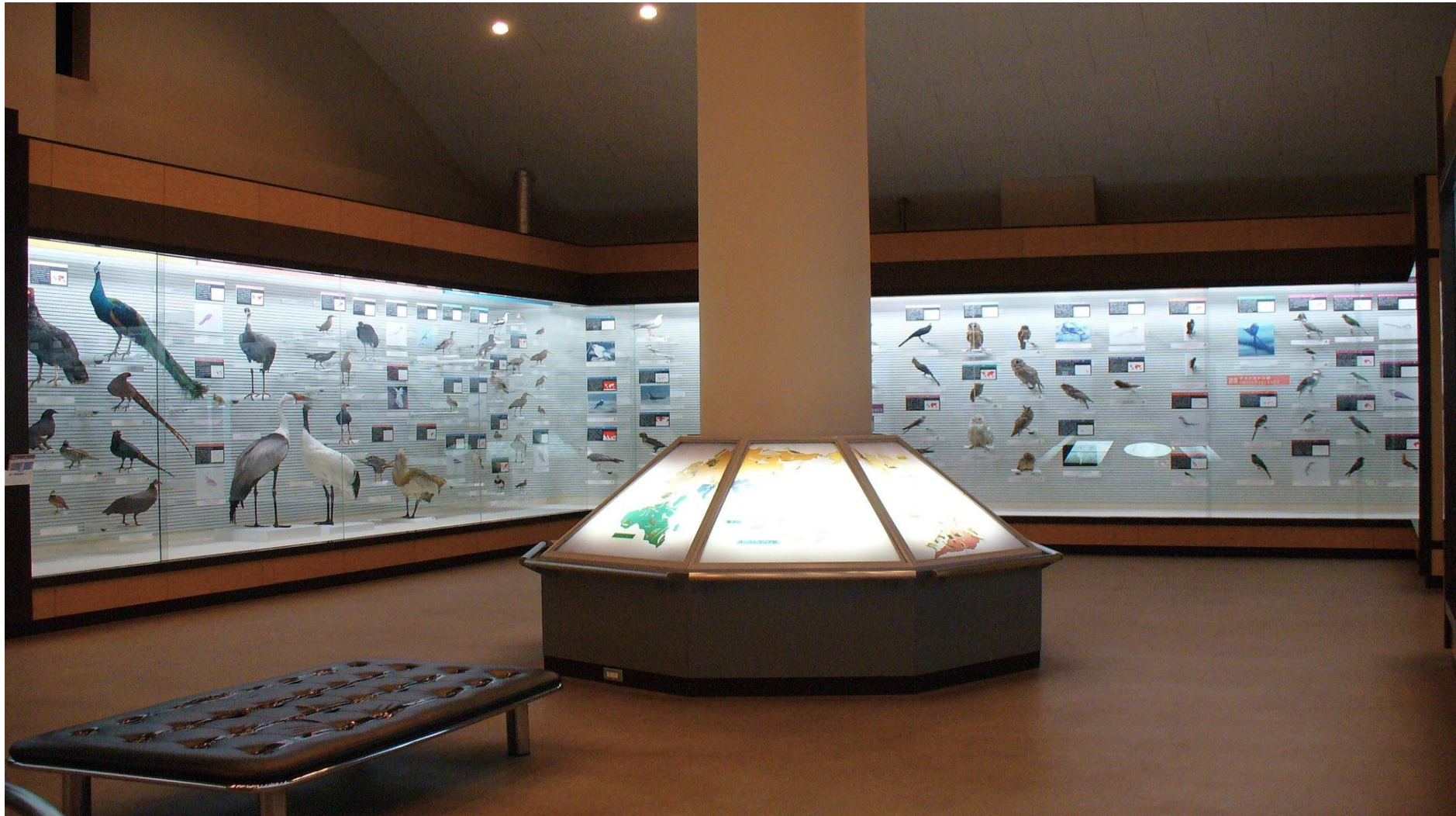




# 課題 1

## 現在の常設展示

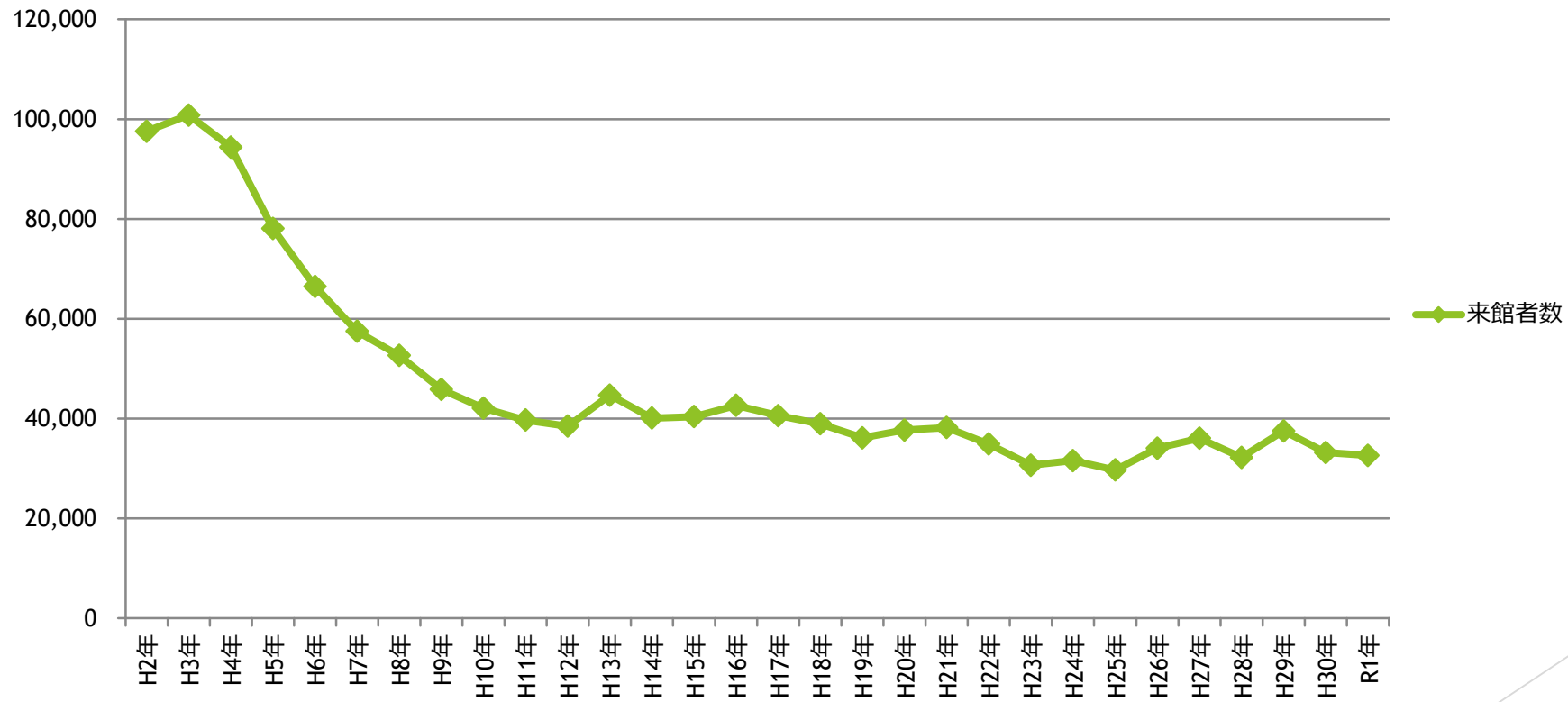
### 2 鳥の世界—世界の鳥—





# 課題 1

## 来館者数の推移



## 魅力アップするために . . . .

- ・ 展示のアップデート（恐竜など）
- ・ 幅広い世代、興味に対応した展示
- ・ 時代に合わせた展示手法の検討  
（非接触型の展示物、IT活用）
- ・ 財源確保の工夫

## 課題2 施設の老朽化

- ▶ 開館30年の経過による不具合内容
  - ・ 自動ドアの部品供給の終了
  - ・ エレベーターの予防保全による装置交換
  - ・ 3階バルコニータイルの劣化
  - ・ バルコニーのベンチの劣化 他



## 課題3 運営体制（人員の確保）

- ▶ 職員配置数の減少
- ▶ 学芸員職の世代交代が出来ていない

## 課題4 来館者と入館料

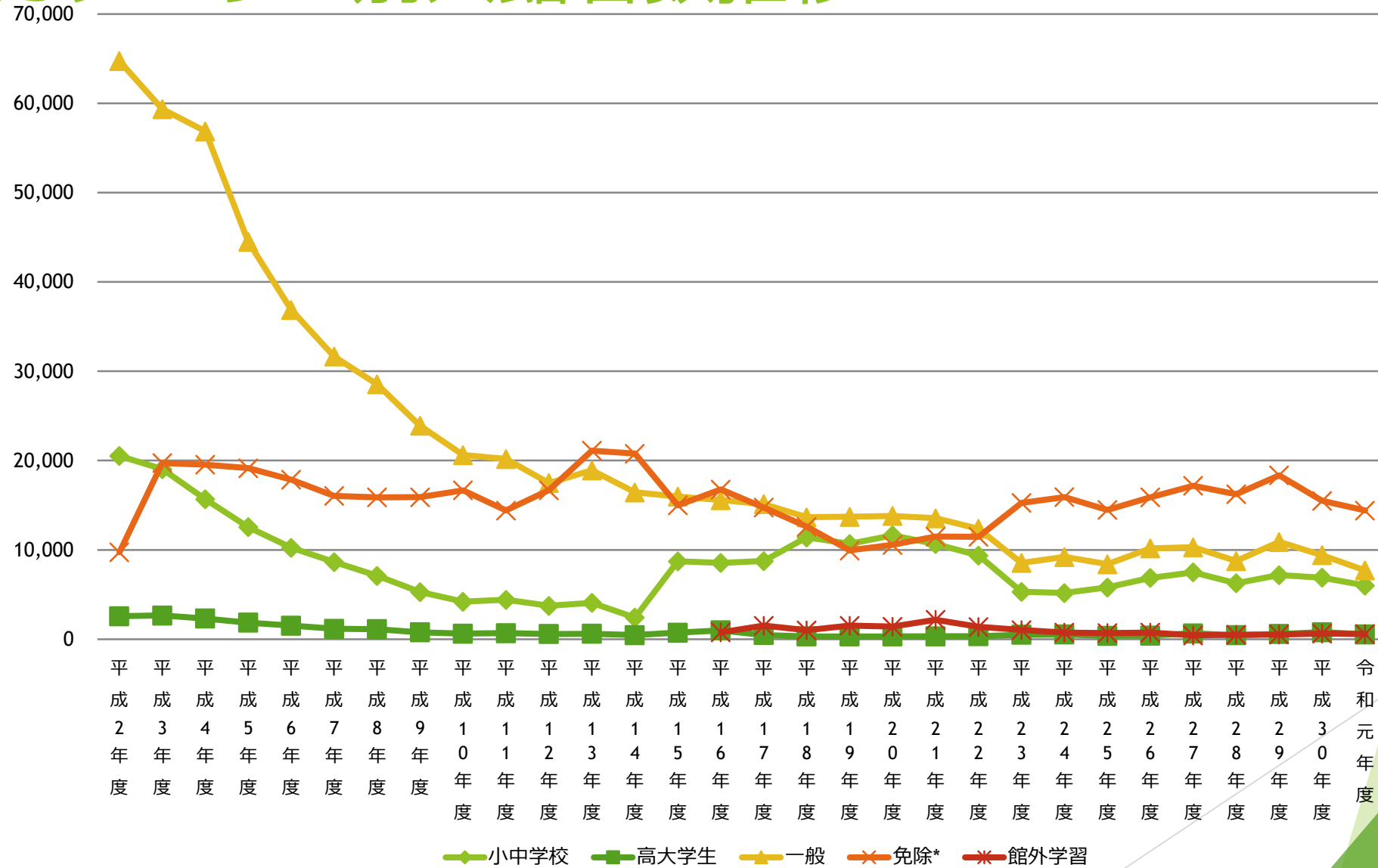
- ▶ 入館者の減少とカテゴリー別に見る変化
- ▶ ミュージアムショップの売り上げと入館料収入の推移



ミュージアムショップ

# 課題 4

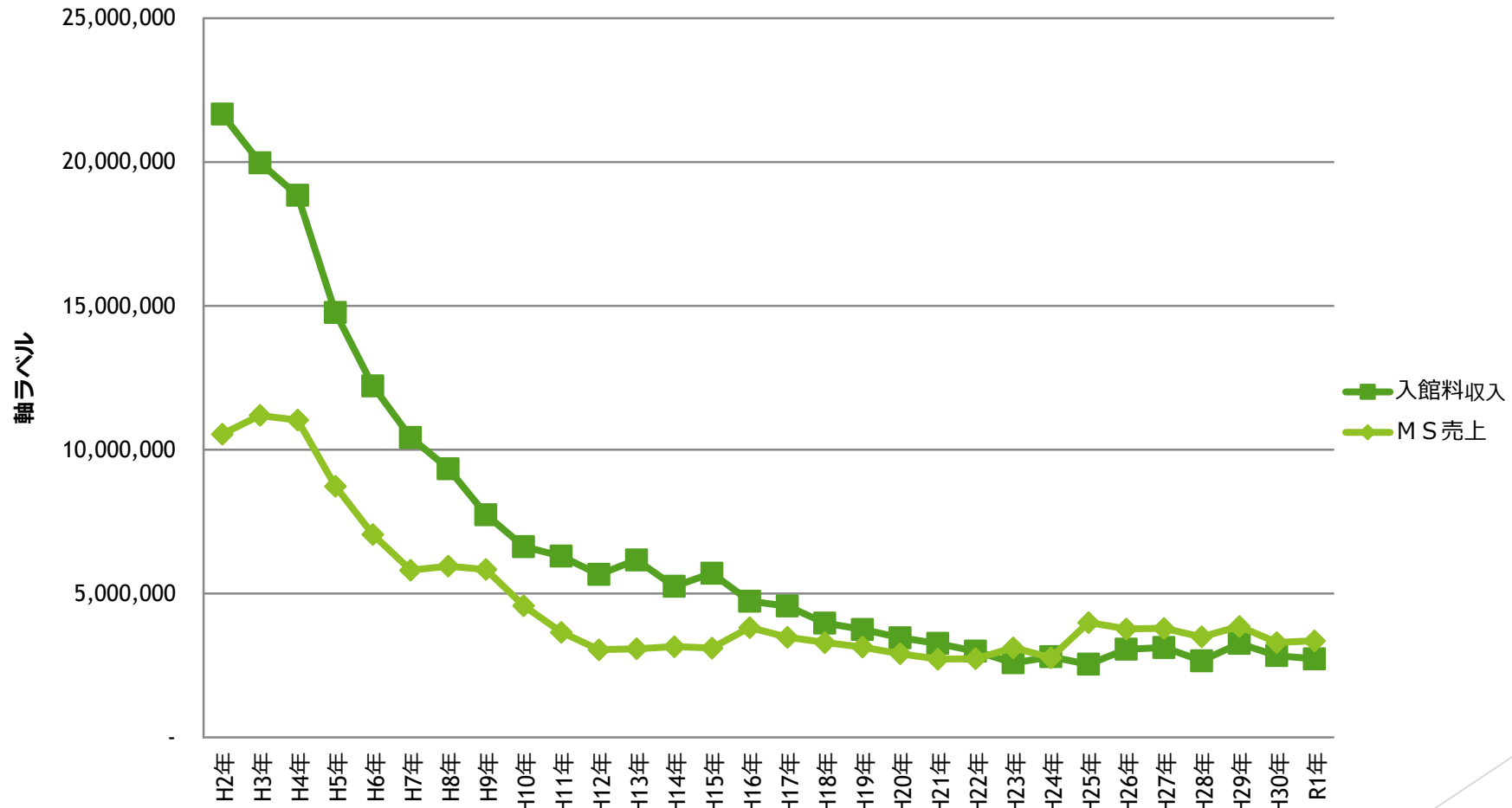
## カテゴリー別入館者数推移





# 課題 4

## ミュージアムショップの売り上げと入館料収入の推移



## 解決に向けて

- ▶ 30年を経て現在に合わせた経営を
  - 1. 入館料の見直し
  - 2. ミュージアムショップの強化  
教育普及のツール、来館者を増やすツール  
としての位置づけ
  - 3. 情報発信の工夫・強化
  - 4. 博物館として民間委託できる範囲を再検討

以上で事業説明は終了です。

ご清聴ありがとうございました。